

■平成24年度
日本庭園学会全国大会
公開シンポジウム

■公開シンポジウム「椿山荘の文化と庭園」

日時：平成24年6月10日（日） 13：00～16：30
会場：フォーシーズンズホテル椿山荘 東京
アンフィシアター（東京都文京区関口2-10-8）

参加費：非会員：3000円、学会員：2000円、資料代1000円を含む
主催：日本庭園学会

椿山荘は、山縣有朋の目白本邸として明治期に誕生し、大正期には近代数寄者のひとりである藤田平太郎に継承され、流れ、池などの地割構成や、さまざまな石造美術品を園内にとどめています。

本シンポジウムでは、椿山荘庭園の構想、意匠、特徴について検討し、近代庭園史における意味を探ります。

■プログラム

12：30～13：00 受付
13：00～13：05 開会挨拶・趣旨説明

【講演】13：05～15：20

「椿山荘庭園の歴史」 諸井 宏益
「椿山荘庭園の灯籠・石幢・層塔」 鈴木 崇
「山縣有朋の自然観と作庭観」 渡邊美保子

15：20～15：30 休憩

【総合討論】15：30～16：20

座長・鈴木誠＋シンポジウム講演者

16：20～16：30 閉会挨拶

■講演者・座長 プロフィール

諸井宏益（もろい・ひろやす）氏
造園家。藤田観光、フォーシーズンズホテル椿山荘東京支配人を経て、平成22年環境空間コンサルタント（株）緑化計画を設立、代表取締役。藤田観光営業アドバイザーを兼務。

鈴木崇（すずき・たかし）氏
造園家。井上卓之造園設計事務所（京都）、総合庭園研究室（東京、中島健主宰）等を経て、昭和46年野沢・鈴木造園設計事務所設立。平成8年に鈴木崇造園設計事務所設立、現在に至る。日本ガーデニングデザイン専門学校非常勤講師。

渡邊美保子（わたなべ・みほこ）氏
園芸家、ガーデニングデザイナー、宿根草庭園作庭家。東京農業大学農学部農学科卒。英国王立園芸協会ウィズレーガーデン園芸学校卒。生態的に組み合わせた植栽デザインを造園に取り入れ、設計・作庭を行う。職藝学院教授。

鈴木誠（すずき・まこと）氏
東京農業大学造園学科卒。同大学助手、講師、助教授を経て、平成13年より地域環境科学部造園科学科教授。博士（農学）。「欧米人の日本庭園観」の研究により、平成10年日本造園学会賞受賞。



フォーシーズンズホテル 椿山荘 東京 案内図

※シンポジウムに関する問い合わせ
粟野隆（東京農業大学、日本庭園学会全国大会運営担当）：t3awano@nodai.ac.jp

椿山荘の文化と庭園